

北海道知事及び札幌市長のほっかいどう住宅フェア実行委員会
「顧問」就任依頼について

1. 経緯

- 令和3年(2021年)6月29日に発足したほっかいどう住宅フェア実行委員会の役員については、「ほっかいどう安心住まいづくりネットワーク」事務局が実行委員会の運営母体となっていることから、ほっかいどう安心住まいづくりネットワーク代表(北海道地域住宅協議会会長・釧路市長)が当実行委員会の会長を務めている。
- 副会長については事務局及び開催都市との関係から、北海道建設部建築企画監、札幌市都市局長、(一財)北海道建築指導センター理事長の3名が務めている。
- 第34回住生活月間中央イベントの北海道(札幌市)開催が、6月20日(月)開催の中央イベント実行委員会で決定した。
- ほっかいどう住宅フェア2022と第34回住生活月間中央イベント「住まいフェス in 北海道」は開催日時・場所を同じくして行う連携開催という位置づけ
- 住生活月間中央イベントの開催地における地方イベントの実行委員会に、開催地首長である北海道知事及び札幌市長が、現在は役員として名を連ねていない状況。
- 「2020 ほっかいどう住宅フェア実行委員会」では、知事が「会長」、札幌市長が「副会長」として役員を務めていた

2. 対応(案)

- こうした状況を踏まえ、地方イベントである「ほっかいどう住宅フェア」の開催地代表として北海道知事及び札幌市長に「顧問」として就任いただくよう、依頼する。
- 顧問の役割や就任期間については特段定めないが、実行委員会会長は事務局を通じ、総会の開催結果を顧問に報告することを規約に盛り込む。